

平成 30 年 5 月 23 日

23<sup>th</sup> May, 2018

大学院学生各位

To All Graduate Students

平成 30 年度 基盤医学特論 開講通知 Information on Special Lecture Tokuron & Tokupro AY2018

## 特徴あるプログラム オミクス解析学プログラム

### Omics Analysis Program

題目：がんゲノム医療

Title : Cancer Genome Medicine

講師：高阪 真路 先生

(国立がん研究センター研究所 細胞情報学分野・主任研究員)

Teaching Staff : Dr. Shinji KOHSAKA

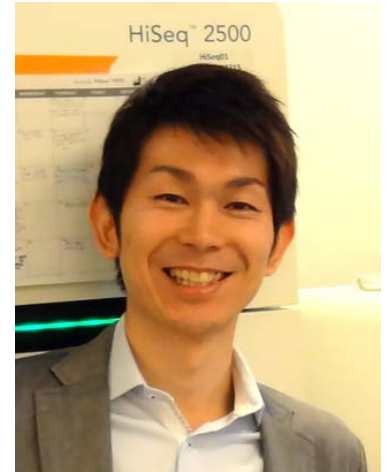
(Senior Staff Scientist, Division of Cellular Signaling, National Cancer Center Research Institute)

日時：2018 年 6 月 27 日 (水) 17:00~18:30

Time and Date : 27<sup>th</sup> Jun, 2018 17:00-18:30

場所：基礎研究棟 第 1 講義室

Room : Basic Medical Research Building Lecture room No.1



#### 概説：

近年の次世代シーケンス技術を用いた大規模ゲノム解析研究により主要ながん種における遺伝子変異データが蓄積され、がんの生物学に対する理解は大きく深まった。さらに、次世代シーケンスを臨床検査として用いるクリニカルシーケンスが徐々に普及しはじめ、米国では 10,000 症例における前向き解析データが発表され、今まさにがん医療は大きなパラダイムシフトを迎えようとしている。

クリニカルシーケンスは従来の手法に比べて複数のバイオマーカーを一度に検出できるという強力な手法である一方で、精度管理、結果の解釈、倫理的な問題など臨床応用に向けて解決すべき課題も多い。

本講義においては国内外で行われているクリニカルシーケンスの概要を説明し、がん医療にどのような恩恵がもたらされるのかを紹介する。そして、クリニカルシーケンスを実装し、がんゲノム医療の実現を目指す上で我々が取り組むべき課題について考察したい。

使用言語：日本語

Language : Japanese

関係講座・部門等の連絡担当者: 神経遺伝情報学・大野 欽司、システム生物学・島村 徹平 (内線 1980)

Contact : Division of Neurogenetics・Kinji Ohno, Division of Systems Biology・Teppei Shimamura (ext.1980)

事前連絡は不要です。

No registration required.